

お囃子嫩

お稽古は、まずは篠笛を鳴らす

篠笛にはリコーダーのようにリードが無いので簡単に鳴りません。「吹き口に唇を当て角度を変えながら息を吹き込み、音の出る位置を探す」と説明を聞いて実際に吹いても思うように鳴らず、くじけそうになります。音の出る位置を粘り強く自分で探し当てた瞬間は教える側も非常に感激します。私たちが特に篠笛の継承にこだわる理由は、先代の指導者が他の地域の方に「篠笛奏者の後継者が現れなかった（育てなかった）から地元のお囃子を絶やしてしまった」と聞いたからで、お囃子嫩では「篠笛を鳴らすこと」を全員に課しています。鳴らすことが出来て吹き方を一通り覚えるまでは少し大変ですが、覚えてしまえば楽しい楽器なので、お稽古はいつもピーヒャラピーヒャラと大変にぎやかです。



西友枝ニコニコ会

これまでで最高の出来 来年もいい年になるよ

12月13日(木)、代表の藤本正吾さんの自宅倉庫で、大平楽玄関に設置する大しめ縄づくりを行いました。藁を継ぎ足しながらつくるその技術もさることながら、今回は、少人数でしめ縄づくりが行えるようローラー付きの台車を準備しました。長さ7m直径30cmに編まれた3本の縄をあわせた大しめ縄は、昨年を上回る太さとなり、重さは200kg以上になりました。

完成したしめ縄は、12月18日(火)、小雪の舞う中、ユニックに吊られ、慣れた手つきで見事に飾り付けられました。入浴に訪れた人から「今年も見事なしめ縄ができたね」と声をかけられて会員全員、満面の笑みを浮かべていました。

これからもこの技術を地域づくりに活かしていきます。



唐原子供神楽

大切な貴船神社に 感謝の気持ちを込めて

12月23日(日)、1年間の感謝の気持ちを込め、いつもお世話になっている下唐原貴船神社の整備、清掃を行いました。

まず、以前からでこぼこだった足元に土を敷き詰め、整地しました。落葉がたくさんだった境内もみんなで掃いて、きれいになりました。

貴船神社は私たちにとってホームグラウンドであり、とても大切な場所です。今後も大切にに使わせていただきます。

新春奉納神楽を舞いました

元旦、唐原貴船神社で、新春奉納神楽を行いました。

神社では、縁起担ぎの餅まきが行われ大変盛り上がりしました。また冷えた体を温めてもらおうと、ぜんざいの振る舞いも行われました。

当日は、天気もよく、最高の神楽日和で、とても気持ちよく舞うことができました。地元の方からも「正月に神楽を見られて、とてもめでたい」とたいへん喜ばれました。

こうやって神楽を舞えるのも、地元の方々の応援のおかげです。今年も精力的に活動していきますので、唐原子供神楽をよろしくお願いします。



よらんかい

猪鍋で上毛町走ろう会を応援

よらんかいでは2月10日(日)、大池公園多目的運動広場周辺で開催された、第7回上毛町走ろう会に参加した皆さんに猪鍋を振る舞いました。はくさいや椎茸など地元の野菜がたっぷりに入った猪鍋は大好評で、長い行列ができていました。材料の仕込みからかたづけまで大変ですが「おいしかったです、ありがとう」と言ってもらえ、町のPRにもなったのではないかと思います。



友枝新聞発行し隊

わくわく友枝瓦版19号発行！

2008年8月の創刊以来、年4回発行している瓦版の19号を発行しました。瓦版は町内で行われたイベントや出来事などをスタッフ自ら取材、編集し読者の皆さんに少しでも多くお届けできるよう今後もがんばります。現在定期購読をしてくれる方を募集しています。詳しくは下記までご一報ください。

問い合わせ先 友枝新聞発行し隊 ☎ 72-2888(藤本さん)

